

# 令和4年度 鹿児島・宮崎「体験の風をおこそう」運動推進事業 ファミリー防災キャンプ

- 1 趣 旨 自然体験や生活体験の防災・減災プログラムを親子で体験して、家族の絆を深めるとともに、自助・共助・公助による生きる力を育む。
- 2 主 催 国立大隅青少年自然の家
- 3 企画・運営 鹿児島・宮崎「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会
- 4 期 日 令和4年11月19日(土)～20日(日)
- 5 対 象 者 防災・減災や自然体験及び生活体験に興味・関心のある家族
- 6 募集定員 10家族 40人程度  
(参加者 10家族 34人 申込み31家族)
- 7 講 師 鹿屋体育大学 生涯スポーツ実践センター 坂口 俊哉氏  
国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所 職員



## 8 日 程

【1日目】		【2日目】	
9:15	受付	6:00	起床
10:00	体験1「コミュニケーションを深めよう！」	7:30	体験6「防災ホットサンドを作ろう！」
12:00	体験2「防災に役立つキャンプメシ！」	9:00	体験7「防災について考えよう」 (降雨体験機体験・桜島火口 VR 体験・土石流発生装置体験)
14:00	体験3「身近なもので緊急避難体験！」	11:30	別れのつどい・解散
16:00	体験4「協力してテントを立てよう！」		
17:00	体験5「避難所生活に備えた野外調理にチャレンジ！」		

- 9 事業運営上の配慮 新型コロナウイルス感染対策として、当日の受付で各家庭に除菌シートを配布するとともに、全員の検温を依頼した。また、各プログラムの終了後、道具や机及び椅子の消毒作業を行ってもらった。

## 10 参加者の感想

- パエリアを作ることが楽しかったです。家でキャンプするときも作りたいです。テント泊も最高でした！！
- キャンプ初心者私たちでも安心してプログラムを実施することができました。2日間、ありがとうございました。
- 夕食で、女性が火起こし、男性が野菜を切るなど、いつもと役割を変えることで、新たな発見がありました。講師の先生のお話が、自分の生活のことも交えて話してくださり、とても分かりやすく、面白かったです。ありがとうございました。

## 11 成果

- 地域の資源を活用を図るために、鹿屋体育大学及び国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所から講師を招聘し質の高いプログラムを参加者に提供することができた。
- 家族同士の活動を数多く実施することで、家族同士のコミュニケーションが活発に行われ、交流促進につながった。

